

「学ぶ力」	
実態	成果
	<p>◇学校評価のアンケートでは、「友達と話し合いながら、楽しく学習することができているか」という質問に対して、児童・保護者・教職員とも肯定的な回答が8割近くあり、年間を通して目標に向かって活動に取り組むことができたといえる。</p>
	<p>◇全国学力・学習状況調査の児童質問紙の結果から、「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫する」ことが苦手と感じている子が少なくない。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
<p>◇札幌市の共通指標の相互承認に関する項目において、友達と学び合うことの楽しさを感じている子どもが多い。一方で、ここ数年、自己肯定感の低い子どもも一部見られる。年間を通して、他者・自己理解や自尊心・自己肯定感を高める取組を取り入れることで、肯定的に捉える子が少しずつ増えてきている。今後も学級・学年での活動や縦割り班による異学年交流、委員会・係などの取組を通して、互いのよさに気づき、充実感を得ることができるように進めていく。</p>	

### 「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

## 生き生きと関わり合い、自らつながって学びを進めていける力

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	広い視野での学び 本物の経験	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>(1)子どもの主体的な関わり合い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思考に沿った問題意識を生み、学びの見通しをもてる授業</li> <li>・一人一人が考えをもち、対話によって思考を再構築する学習の充実</li> </ul> <p>(2)主体的な学び方の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「やりたい」「考えたい」など、子どもの思考に沿った問題意識や目的意識を生み、課題探究的な学習へつながる授業の充実。</li> <li>・子ども一人一人が「できた」「分かった」という達成感をもち、新たな問題意識や目的意識などの学習意欲につながる学習展開</li> </ul>		<p>①よりよい学級・学年・学校にするための活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが主体的に活動する関わり合い方の工夫</li> <li>・やりがいを感じながら進められる係・委員会・クラブ・縦割り活動（異学年交流）</li> </ul> <p>②自分たちの生活を振り返る場の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な自己・他己・教師評価</li> <li>・学校行事に対する取組、毎月の生活目標に対する振り返り</li> </ul> <p>③さっぽろっ子サミットと関連した活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中パートナー校との交流</li> </ul>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について			
<p>◇学びをつなげる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決に向けて、友達との交流手段として活用</li> <li>・子どもたちの表現手段（まとめ等）としての活用</li> </ul>	<p>◇全校とつながる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会、クラブなど、学年を超えた活動で活用</li> </ul>		<p>◇地域・家庭とつながる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や他の学校と交流する手段として活用</li> <li>・「まなびポケット」等、家庭での学習への活用</li> </ul>

### <本プログラムの実行に向けて>

